乱暴者（1952）

EL BRUTO

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 メキシコ
色彩 B&W
時間 81分
初公開日 1987/08/29
公開情報 ヘラルド・エース

【解説】

フォード映画の常連で知られるアルメンダリスの本国での主演作で、アメリカ映画では気のいい三枚目で、往々にしてコメディ・リリーフだった彼が、一応ヒロイックな役を演じている点に興味を引かれる。ブニュエルは、ホモと誤解されそうな全ての動作、台詞、半袖のシャツ（長袖をまくるならいいのだそうだ）さえも彼は拒んだーーと、苦々しく回想している。肉屋で働くペドロは、逞しい体躯に腕っぷしが自慢で、地主カブレラの用心棒もしていた。ある日、団交に出ようとした小作人たちを疎ましく思ったカブレラは、その代表格の男を、ペドロに命じて殺させる。自らも傷ついたペドロは、復讐にいきまく小作人らの包囲網をかいくぐり、代表の娘メチェを人質にして逃げた。彼を父の仇とは知らないメチェが農民たちの窮状を訴えると、ペドロは何も考えず、強権的な搾取側についていたことを後悔し、改心するのだった。カブレラの妻パロマはペドロに目をかけて来たが、メチェとの仲睦まじい様子に腹を立て、彼女に、父を殺したのは実はペドロであることを告げてしまう……。単純ではあるがゆえに悲劇に向かう、気のいいマッチョ男をアルメンダリスがほとんど地で演じている。メキシコ時代のブニュエル作品としてはごく標準的だが、語りは明晰でユーモアのブリッジも効いていた、ポジティヴなメロドラマ。

【クレジット】

監督	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
製作	セルヒオ・コーガン	
脚本	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
	ルイス・アルコリサ	Luis Alcoriza
撮影	アグスティン・ヒメネス	Augstin Jimenez
音楽	ラウル・ラヴィスタ	Raul Lavista
出演	ペドロ・アルメンダリス	Pedro Armendariz
	ケティ・フラド	Katy Jurado
	ロシータ・アレナス	
	アンドレス・カプレラ	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.